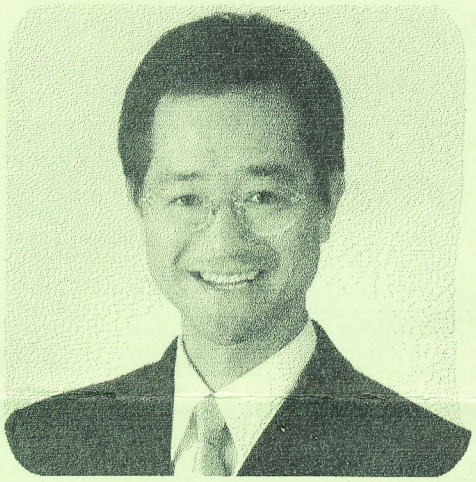
泉大津市議会議員 **林哲二　通信** Vol.２２

平成２３年３月版

発行：林哲二後援会

泉大津市松之浜町2-10-25
TEL/FAX：32-8895



笑顔あふれる泉大津市!!

笑顔でこどもがのびのび遊べる広場を！
笑顔で挨拶が飛び交う町を！
笑顔でみんなが助け合う町を！

★林哲二後援会事務所開きのお知らせ

日時：平成２３年３月２０日（日）
午前１０時３０分より
場所：松之浜町２－３－１０
（アサノモーターサイクル横）
（松之浜交番前、旧２６号沿い）

★林哲二　市政報告会開催します

日時：平成２３年３月２６日（土）
午後２時００分より
場所：泉大津市民会館　小ホール

皆さん、どうぞお気軽にお越し下さい。
お待ち申し上げております。

林　哲二 プロフィール (昭和３６年６月２１日生　４９才)

学歴

・泉大津市立東陽中学校卒業
・浪速高校卒業
・京都外国語大学卒業

職歴

・立花証券（株）入社
・安田火災（株）（現、損保ジャパン）へ
・林総合保険事務所設立へ
・泉州実業(株)へ吸収合併

・平成１９年４月、泉大津市議会議員初当選
・平成２０年５月　総務文教常任委員会副委員長
・平成２１年５月　市街地整備対策特別委員会委員長
・平成２２年５月　産業厚生常任委員会副委員長

私の思い⑬

大きな社会問題として注目された京都大学の不正入試。まさにネット社会の弊害が表面化した問題である。この世に携帯電話なるものが登場し、私が手にしてから１５年以上になる。当時、保険営業マンの私は、車が何よりの仕事道具であったが、事故渋滞・工事渋滞等で苦慮する事が多々ありました。そんな時に携帯で車から連絡出来ることは画期的な出来事でした。しかし、便利な携帯も、やはり弊害があります。特に、親子間のコミュニケーション不足を加速させたのはまぎれもない事実です。
今回の京大入試の件は改めてネット社会の弊害を考えるいい機会になりました。
今一度、便利を追求することが本当に正義なのか、改めて考えようと思います。

☆活動報告

今月（三月）の市議会本会議では以下の題材で一般質問しました。

〇三月の定例会：
《元気な教育とイキイキ高齢社会について》

市長より示されました、施政方針の中から、元気な泉大津の教育を目指すことと、イキイキした高齢社会を目指すとの内容がありました。今まで、教育と高齢者の問題に力を入れてきた私は、まず、人間として本来あるべき生き方を学ぶ教育をしっかり行うとの内容について、どのような教育を考えるのか問いました。これは、子どもの人間形成において、泉大津市がどのような思いで教育にあたるのかという大変重要な部分と思いを確認するための質問です。

いただいた答弁は、「人間が幸せに生きるために必要な誠実・親切・質素・勇気・正義など、こうした徳目を大切にする生き方」を学ぶ教育。

また、イキイキした高齢社会とはどのような社会のイメージをもたれているのか確認。

いただいた答弁は、「高齢者になっても住み慣れた環境で生活できるよう、地域での支え合いを充実させ、自分たちが社会の中で必要とされているという意識を持てる社会、すなわち高齢者を切り捨てることなく、あらゆる世代と交流しながら日本古来の文化を伝承していく社会」と考えるとの事。

林　哲二